



《ファンド設定日》

クラスA米国設定日	1988年10月3日
クラスM米国設定日	1994年12月1日
日本設定日	1997年5月28日

当ファンドの新規販売は停止しております。

当ファンドは、米国の政府債券、モーゲージ証券、投資適格社債、ハイールド社債、他の先進諸国やエマージング国の債券等に投資し、高い総合収益をあげることを目指します。

《純資産総額(百万米ドル)》

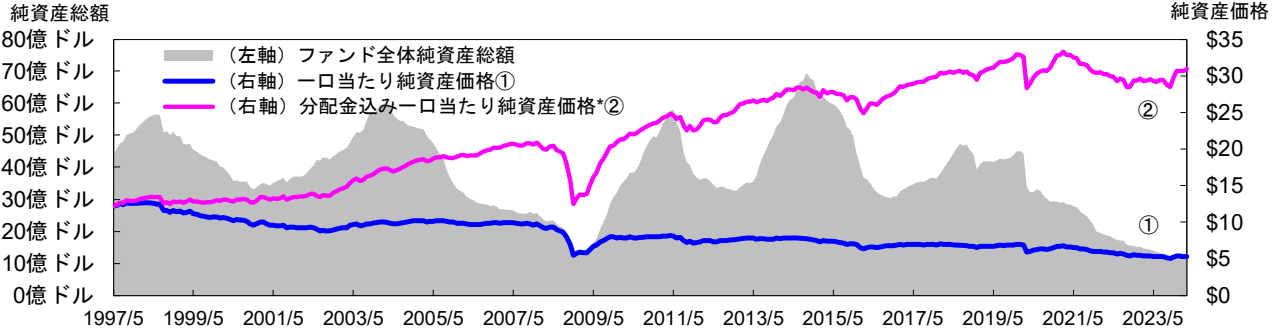
クラスM	51
ファンド全体	1,160

《運用成績》

右記はクラスM受益証券の申込手数料控除前、管理運用報酬等その他費用控除後の総合収益率です。分配金は全て再投資したと仮定し、1年以上の期間は年率換算されています。

1か月	3か月	6か月	年初来
0.77%	1.01%	7.72%	1.01%
1年	3年	5年	日本設定来
5.43%	-1.98%	0.09%	3.53%

《日本設定以来の一口当たり純資産価格(月末)と純資産総額の推移(米ドル)》



* 分配金(税引前)を全て再投資したと想定した場合の一口当たり純資産価格です。上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

《過去の一口当たり純資産価格(月末値)と分配金の推移(1口当たり、税引前、米ドル)》

	一口当たり純資産価格	分配金		一口当たり純資産価格	分配金
2023/06	5.30	0.028	2023/11	5.24	0.028
2023/07	5.32	0.028	2023/12	5.38	0.031
2023/08	5.29	0.028	2024/01	5.36	0.031
2023/09	5.13	0.028	2024/02	5.33	0.031
2023/10	5.06	0.028	2024/03	5.34	0.031

運用状況によっては分配金額が変動する場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないすべてが、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。

《基本データ》

組入れ銘柄数	862	米ドル	103.3%
平均デュレーション(年)	4.45	ユーロ	-0.6%
平均クーポン(%)	5.74	英ポンド	-0.6%
平均最終利回り(%)	5.47	その他	-2.1%

基本データ、通貨構成比、ポートフォリオ構成比、格付け構成比にはデリバティブ取引が含まれます。デリバティブ取引等の投資状況によっては、一部の数値がマイナスになる場合があります。平均デュレーションは金利の変動に対するポートフォリオの感応度を表しており、平均デュレーションの値が大きいほど金利変動の影響を大きく受けます。市場環境によっては、デリバティブ取引等で金利リスクのヘッジを行うことにより、平均デュレーションがマイナスになる場合があります。また、ポートフォリオ構成比の合計値は、デリバティブ取引等の投資状況によっては100%にならない場合があります。

《通貨構成比》

《ポートフォリオ構成比》

資産クラス	構成比
米国政府債	0.0%
米国モーゲージ証券	42.7%
米国アセットバック証券	11.0%
米国投資適格社債	5.3%
ハイールド社債	26.0%
米国以外の先進諸国債等	0.8%
エマージング債	13.6%
キャッシュ等	32.3%

《組み入れ上位10銘柄》

	銘柄名	セクター名	クーポン	償還日
1	ファニーメイ FN30 TBA UMBS	モーゲージ証券	6.000%	2054/4/1
2	ファニーメイ FN30 TBA UMBS	モーゲージ証券	6.500%	2054/4/1
3	ジニーメイ GII30 TBA	モーゲージ証券	4.500%	2054/4/1
4	ジニーメイ GII30 TBA	モーゲージ証券	5.500%	2054/4/1
5	ジニーメイ GII30 TBA	モーゲージ証券	4.000%	2054/4/1
6	CAS 2016-C02 1B	アセットバック証券	17.685%	2028/9/25
7	ファニーメイ FN30 TBA UMBS	モーゲージ証券	2.500%	2054/4/1
8	ファニーメイ FN30 TBA UMBS	モーゲージ証券	5.500%	2054/4/1
9	CAS 2016-C03 1B	アセットバック証券	17.185%	2028/10/25
10	GNR 2021-116 EI IO	モーゲージ証券	3.000%	2051/7/20

組入上位10銘柄合計の対純資産比率: 35.24%

《格付け構成比》

格付け	構成比
AAA	14.8%
AA	1.8%
A	2.1%
BBB	9.1%
BB	16.7%
B	7.3%
CCC以下	4.9%
格付けなし	10.9%
キャッシュ等	32.3%

格付けはムーディーズ、S&P、フィッチのうち、上位格付けを採用しています。キャッシュ等には、現金、短期証券、デリバティブなどが含まれます。

◆本資料はファンドの受益者の皆様にファンドの運用成績等をお知らせする目的で、パトナム・インベストメント・マネジメント・エルエルシー(以下パトナム)が作成した資料であり、特定の商品の売却ならびに購入の申込を勧誘するものではありません。◆日本においては、当ファンドの販売会社の決定に基づき、2005年9月をもって新規販売は停止されました。◆本資料は金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。◆本資料に記載された過去の運用実績および数値は将来の結果を保証するものではありません。◆本資料中に記載された市場やポートフォリオの見通し等は本資料作成時点でのパトナムの見解であり、今後変更される可能性があります。◆当ファンドの価格は、組み入れられている有価証券の値動きのほか為替変動による影響を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。投資元本は保証されておりません。◆投資信託は、預金保険の補償対象ではありません。◆登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償対象ではありません。

お問合せ



株式会社三井住友銀行
登録金融機関 関東財務局長(登金)第54号
加入協会/日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

管理運用会社:

パトナム・インベストメント・マネジメント・エルエルシー



市場動向

米国政府債等

3月の米国10年物国債利回りはやや低下しました。月初に発表された経済指標は比較的弱めの内容だったものの、物価関連の指標は市場予想をやや上回りました。そうした中、19-20日の米連邦公開市場委員会(FOMC)で米連邦準備制度理事会(FRB)は5会合連続で政策金利の据え置きを決定しました。また、FOMC参加者の政策金利予想(中央値)についても、年内3回分の利下げを示唆する前回の見通しを維持しました。当月を通して、長期金利は概ね横ばい圏内で推移しました。

指標となる2年、10年、30年物米国国債の月末の利回りは、4.621%(前月比+0.001%)、4.201%(前月比-0.050%)、4.344%(前月比-0.036%)となりました。

為替市場

3月の為替市場をみると、米ドルは主要通貨に対して、総じて堅調に推移しました。ドル円相場は、日銀の政策変更を意識した動きがみられたものの、概ね事前予想通りだった金融政策決定会合後は日米の金利差が今後も維持されるとの見方などを背景に、151円台に上昇しました。

3月末の米ドル相場は、対円では前月末比1円37銭円安ドル高の1ドル=151円35銭となり、対ユーロでは0.15セントドル高ユーロ安の1ユーロ=1.0790ドルとなりました。

ハイイールド社債

3月のハイイールド社債市場は上昇しました。JPモルガン・ディベロップト・ハイイールド・インデックスの収益率は+1.16%となりました。一方、米国国債に対するスプレッドは、前月末比15ベースポイント縮小し、341ベースポイントとなりました。

米国以外の先進諸国債

3月の欧州主要国の長期金利は低下しました。欧州中央銀行(ECB)は7日の理事会で、政策金利を4会合連続で据え置くことを決定し、今後の政策運営はデータ次第であることをあらためて表明しました。その他の中央銀行の動きとしては、イングランド銀行が政策金利の据え置きを決定した一方、スイス国立銀行が9年ぶりに利下げを実施しました。

指標となるドイツの2年、10年、30年物国債の月末の利回りは、2.849%(前月比-0.052%)、2.298%(前月比-0.113%)、2.455%(前月比-0.084%)となりました。

エマージング債

3月のエマージング債券市場は上昇しました。JPモルガンEMBIグローバル・ディバーシファイドの収益率は+2.09%となりました。一方、米国国債に対するスプレッドは、前月末比27ベースポイント縮小し、342ベースポイントとなりました。

運用チームのコメント: 今後の市場見通し・ポートフォリオ戦略

運用状況

3月の月次収益率は+0.77%となりました。

リスク資産が全般に堅調に推移する中、ハイイールド社債、エマージング債、米国モーゲージ証券、米国アセットバック証券への配分や銘柄選択がいずれもプラス要因となり、パフォーマンスに貢献しました。

ハイイールド社債

ハイイールド社債市場は堅調に推移しています。金融引き締めに伴う景気減速、労働市場の逼迫、インフレなどのマクロ面での懸念材料はあるものの、企業業績は底堅く、好調な需給が市場を支えています。デフォルト率は、長期の平均を下回る水準です。引き続き財務内容の健全性、キャッシュフローの動向、景気減速時における耐性などを注視しています。昨年末以降、市場が上昇し、スプレッドの水準に割安感は見られないものの、高水準の利回りには長期的に妙味があります。今後も予想を上回るインフレ、大幅な景気減速、地政学的緊張などのリスクを注視していきます。

米国経済・金利見通し

米国景気は底堅く推移しています。雇用環境は引き続き良好であり、消費を下支えするとみられます。基調的なインフレは、全体として鈍化傾向にあるものの、なおFRBの目標値(2%)を上回っています。3月のFOMC時点でFRBは年内3回程度の利下げ見通しを示したものの、今後発表される指標が予想を上回って推移し、インフレの持続的低下に黄信号が灯るような場合、利下げ開始のタイミングが遅れる可能性が高まり、長期金利に上昇圧力がかかるとみられます。

米国モーゲージ証券・アセットバック証券

モーゲージ証券市場には、期限前償還リスク、信用リスク、流動性リスクに応じて利回りが低いものから高いものまで幅広くあり、様々な投資機会があります。各債券の特性を見極め、相対的に魅力度の高い銘柄を選別して幅広くポートフォリオに組み入れています。現在、政府系機関パススルー証券、モーゲージ担保債務証券、商業用モーゲージ証券などを組み入れています。クレジット・スプレッドが縮小していることから、全般的にリスクの抑制を図っていますが、経済状況、金融政策を注視しつつ、個別銘柄の分析を通じて投資機会を探る方針です。

米国以外の先進諸国債

為替

エマージング債

欧州の景気は停滞していますが、足元の指標は強弱まちまちです。インフレ率は、なおECBの目標値を上回っているものの、鈍化傾向が続いています。インフレの持続的な鈍化を背景に、ECBは早ければ6月にも利下げを開始するとの見方が高まっています。為替市場についてみると、米ドルはFRBが金融緩和に転じるとの見方はドル安要因ですが、米国の相対的な景気の強さや利下げ開始時期が遅れる可能性などが米ドルを支える要因となりそうです。ユーロについては、FRBよりもECBの利下げのタイミングが早くなる可能性が上値抑制につながるとみられます。英ポンドについても、インフレ高止まりへの警戒感があるものの、イングランド銀行の利下げ開始を巡るコメントが注目されます。

エマージング債の見通しについては不確実性が高まっています。ファンダメンタルズの悪化は見られないものの、米国の金融緩和転換時期を巡る不透明感に加え、中東情勢、中国の景気回復の鈍化、今年後半の米国大統領選挙など様々なリスクがあります。引き続き市場が安定的に推移する可能性はありますが、バリュエーションに割安感は見られません。そのため、信用力が相対的に高い高利回り債の銘柄選別に重点を置き、市場が調整局面を迎えるまで、エマージング債のリスク全体を抑制する方針です。

◆本資料はファンドの受益者の皆様にファンドの運用実績等をお知らせする目的で、パトナム・インベストメント・マネジメント・エルエルシー(以下パトナム)が作成した資料であり、特定の商品の売却ならびに購入の申込を勧誘するものではありません。◆日本においては、当ファンドの販売会社の決定に基づき、2005年9月をもって新規販売は停止されました。◆本資料は金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。◆本資料に記載された過去の運用実績および数値は将来の結果を保証するものではありません。◆本資料中に記載された市場やポートフォリオの見通し等は本資料作成時点でのパトナムの見解であり、今後変更される可能性があります。◆当ファンドの価格は、組み入れられている有価証券の値動きのほか為替変動による影響を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。投資元本は保証されておりません。◆投資信託は、預金保険の補償対象ではありません。◆登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償対象ではありません。

お問合せ



株式会社三井住友銀行
登録金融機関 関東財務局長(登金)第54号
加入協会/日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

管理運用会社:

パトナム・インベストメント・マネジメント・エルエルシー



当ファンドに係るリスクについて

当ファンドは、主に米国政府債等(米国政府債、モーゲージ証券、アセットバック証券、米国投資適格社債など)、ハイイールド社債、米国以外の先進諸国債、エマージング債などを投資対象としますので、金利変動等による組み入れ有価証券の価格下落や組み入れ有価証券の発行体の倒産もしくは財務状況の悪化等の影響により、一口当たり純資産価格が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、一口当たり純資産価格の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。また、当ファンドは米ドル建てですので、日本円から投資されるお客様の場合には為替相場の変動によっては換金時の円貨お受取額が円貨ご投資額を下回る可能性があります。これらの運用および為替の変動による損益は、全て受益者の皆様に帰属します。当ファンドの一口当たり純資産価格の主な変動要因は下記の通りです。

金利リスク	債券価格は一般に金利が上昇すると下落し、金利が下落すると上昇します。一般に金利リスクは、満期までの期間が長い債券ほど大きくなります。
信用リスク	投資している債券の元本や利息の支払いが滞るあるいは滞る可能性が高いと予想される場合、当ファンドの一口当たり純資産価格に悪影響を与える可能性があります。ハイイールド社債などの非投資適格の債券は、通常、投資適格の債券に比べて高利回りを提供する一方、債務不履行(デフォルト)の可能性が高くなります。
期限前償還リスク	モーゲージ証券などではローンの借り換え等により元本が期限前償還されることがあります。期限前償還された資金を再投資する際に、再投資後の利回りが償還された債券の利回りよりも低くなる可能性があります。
米国以外の国の投資証券	投資対象には米国以外の国や企業が発行する債券も含まれており、これらの債券は政治・経済・社会情勢の変化や法規制の変更など一定の特殊なリスクを伴います。当リスクは一般にエマージング市場において大きくなります。
為替リスク	当ファンドは米ドル建てですが、米ドル建て以外の債券も投資対象としていますので、為替変動により米ドル建て元本への差損益が発生する可能性があります。
デリバティブ・リスク	デリバティブはヘッジ目的および非ヘッジ目的の双方で利用されており、特殊なリスクを伴い、損失が発生することがあります。デリバティブの中にはレバレッジを利用している投資があり、それらの投資はレバレッジされていない投資よりも大きな投資エクスポージャーにさらされており、投資損失が拡大する可能性があります。
流動性および低流動性資産への投資	流動性の低い債券に投資した場合、または、投資している債券の流動性が市場動向や経済情勢の悪化などを背景に低下した場合、売却が困難になる、適正価値を下回る価格でしか売却できない、あるいは価格評価が困難になる等のリスクがあります。

当ファンドに係る手数料等について

お申込時、買戻し時にご負担いただく費用

お申込手数料	当ファンドの新規販売は停止しており、該当事項はありません。	お買戻手数料	ありません。
--------	-------------------------------	--------	--------

保有期間中にファンド資産から支払われる費用

管理運用報酬	<p>ファンドの管理運用業務およびファンド資産に関する投資顧問業務および日々の投資運用業務の対価として、ファンドは月次報酬を管理運用会社に支払います。月次報酬は当該月のファンドの平均純資産に対して料率を乗じて計算されます。この料率は(年率、下記)、管理運用会社が管理するオープン・エンド型ファンド(本ファンドを含む、但し上場ファンドは除く)の純資産総額(他のパトナムのファンドに投資されたファンドの純資産を除く、当該月の各営業日の終了時に決定)の月額平均(「オープン・エンド型ミューチュアル・ファンド平均純資産総額」)に基づきます。</p> <table border="1"> <tr> <td>オープン・エンド型ミューチュアル・ファンド平均純資産総額</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>50億ドル以下の部分</td> <td>0.700%</td> <td>300億ドル超</td> <td>800億ドル以下の部分</td> <td>0.500%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>50億ドル超 100億ドル以下の部分</td> <td>0.650%</td> <td>800億ドル超</td> <td>1,300億ドル以下の部分</td> <td>0.480%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>100億ドル超 200億ドル以下の部分</td> <td>0.600%</td> <td>1,300億ドル超</td> <td>2,300億ドル以下の部分</td> <td>0.470%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>200億ドル超 300億ドル以下の部分</td> <td>0.550%</td> <td>2,300億ドル超</td> <td>の部分</td> <td>0.465%</td> <td></td> </tr> </table>	オープン・エンド型ミューチュアル・ファンド平均純資産総額						50億ドル以下の部分	0.700%	300億ドル超	800億ドル以下の部分	0.500%		50億ドル超 100億ドル以下の部分	0.650%	800億ドル超	1,300億ドル以下の部分	0.480%		100億ドル超 200億ドル以下の部分	0.600%	1,300億ドル超	2,300億ドル以下の部分	0.470%		200億ドル超 300億ドル以下の部分	0.550%	2,300億ドル超	の部分	0.465%	
オープン・エンド型ミューチュアル・ファンド平均純資産総額																															
50億ドル以下の部分	0.700%	300億ドル超	800億ドル以下の部分	0.500%																											
50億ドル超 100億ドル以下の部分	0.650%	800億ドル超	1,300億ドル以下の部分	0.480%																											
100億ドル超 200億ドル以下の部分	0.600%	1,300億ドル超	2,300億ドル以下の部分	0.470%																											
200億ドル超 300億ドル以下の部分	0.550%	2,300億ドル超	の部分	0.465%																											
(副管理運用報酬)	管理運用会社(ファンドではない)は、ファンド資産の一部に関する投資顧問業務の対価としての報酬を、副管理運用会社が運用するファンド資産の平均純資産総額の年率0.20%の料率で四半期毎に副管理運用会社に支払います。																														
販売計画報酬	ファンドは元引受会社に対して元引受業務の対価(日本の販売会社への委託手数料等が含まれる)としての報酬を、平均純資産総額の最高年率1.00%を支払います。現在、クラスM受益証券は最高年率を0.50%に制限しています。																														
投資者サービス代行報酬	ファンドは、投資者サービス代行会社に対し、投資者サービス代行業務の対価として、月額の報酬を支払います。その報酬はファンドの販売資産レベル等に基づきますが、ファンドの平均資産の年率0.25%を超えないものとします。																														
保管報酬	ファンドは、保管会社に対して、保管業務の対価として、固定年間手数料ならびにファンドの資産およびファンドが保有する有価証券の数と種類に基づく手数料の組合わせに基づく月額の報酬を支払います。																														

※その他の費用: 受託者報酬、監査、法律および受益者報告費用等を含む管理運用会社が負担しないすべての費用をファンドが支払います。
上記その他の費用は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきますが、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。
※上記の手数料等の合計額については、投資家の皆さまがファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
投資信託のご購入、換金にあたって円貨から外貨または外貨から円貨へ転換の際は、為替手数料が上記の各種手数料等とは別にかかります。

【管理運用会社・その他関係会社の概要】	■保管会社・副会計代行会社: ステート・ストリート・バンク・アンド・トラスト・カンパニー
■管理運用会社: パトナム・インベストメント・マネジメント・エルエルシー	■投資者サービス代行会社: パトナム・インベスター・サービス・インク
■副管理運用会社: パトナム・インベストメント・リミテッド	■元引受会社: パトナム・リテール・マネジメント・リミテッド・パートナーシップ

※ パトナム・インベストメント・マネジメント・エルエルシーおよびその関連会社はフランクリン・リソース・インク傘下の会社です。

【投資信託に関する留意点】

- 投資信託は、元本保証および利回り保証のいずれもありません。
- 投資信託は預金ではありません。
- 投資信託は預金保険の対象ではありません。預金保険については窓口までお問い合わせください。
- 三井住友銀行で取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 三井住友銀行は販売会社であり、投資信託の設定・運用は管理運用会社が行います。
- 三井住友銀行では2005年9月をもって当ファンドの新規販売を停止しています。

◆本資料はファンドの受益者の皆様にファンドの運用成績等をお知らせする目的で、パトナム・インベストメント・マネジメント・エルエルシー(以下パトナム)が作成した資料であり、特定の商品の売却ならびに購入の申込を勧誘するものではありません。◆日本においては、当ファンドの販売会社の決定に基づき、2005年9月をもって新規販売は停止されました。◆本資料は金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。◆本資料に記載された過去の運用実績および数値は将来の結果を保証するものではありません。◆本資料中に記載された市場やポートフォリオの見通し等は本資料作成時点でのパトナムの見解であり、今後変更される可能性があります。◆当ファンドの価格は、組み入れられている有価証券の値動きのほか為替変動による影響を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。投資元金は保証されておりません。◆投資信託は、預金保険の補償対象ではありません。◆登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償対象ではありません。

お問合せ



株式会社三井住友銀行
登録金融機関 関東財務局長(登金)第54号
加入協会/日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

管理運用会社:

パトナム・インベストメント・マネジメント・エルエルシー